

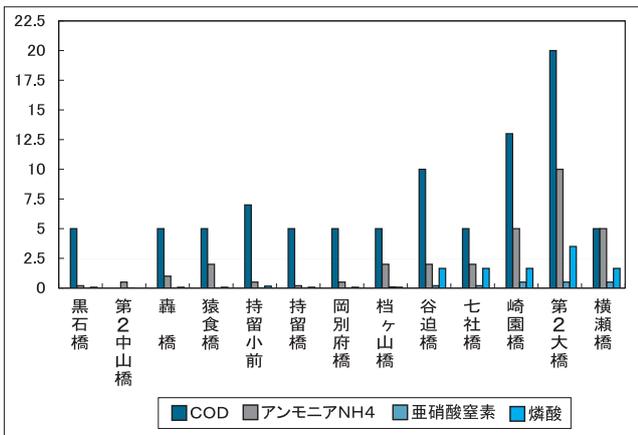


## 『水質調査に驚きの結果…！』

平成15年から、人の持つ様々な感覚を使った自然体験学習を進めている「くにの松原ネイチャーゲームの会」は、県森林環境税の助成を受け、12月8日、小学生21名と地域住民の協力のもと、持留川に架かる黒石橋から横瀬橋までの13の橋で水質検査を実施した。

検査の結果は、持留川下流の汚染が進み、子どもたちも「自分たちも汚さないようにしないとね」と話していた。特に国道に架かる第2大橋付近では、下水道に匹敵するくらい汚染が進んでいた。

今後、汚染された水を竹炭により浄化する体験や、竹炭焼き体験学習等の計画があり、自由に参加できる。



## 『立小野小学校でそば打ち体験学習』

広報おおさき10月号「タウンとびっくす」で紹介した『立小野小学校で、そばの種まき』。そのそばが実り、12月12日(水)、学習発表会が行われた後に、今度は自分たちで育てたそばの実を使って、そば打ち体験学習が行われました。

種まきのときは、“おじちゃん”が教えてくれましたが、そば打ちということもあり「今度は、あたい等の番じゃが」と、“おばちゃん”達が自慢の麺棒を片手に、子どもたちに丁寧に教えていました。

そば粉に水を少しずつ入れながら練り混ぜ、大きな

団子のようなになったら、小さく分けて丸めます。それを平たくしたら、自慢の麺棒の登場！おばちゃんが、そば粉をまぶしながらコロコロと回すと、“すー”っと伸びていく生地。子ども達もコロコロと麺棒を回します。「あっ！」声がしたほうに近づいて覗き込んで見ると、麺棒に生地がべったり。簡単そうに見えて意外と難しい事に気づく子どもを見て、おばちゃん達も自慢げな顔。包丁で細く切ったら、さっそく釜ゆで。だし汁をかけてネギをふったら「いただきます！」美味しそうにそばを食べる子ども達を見て、皆さん自然と笑顔になりました。

